

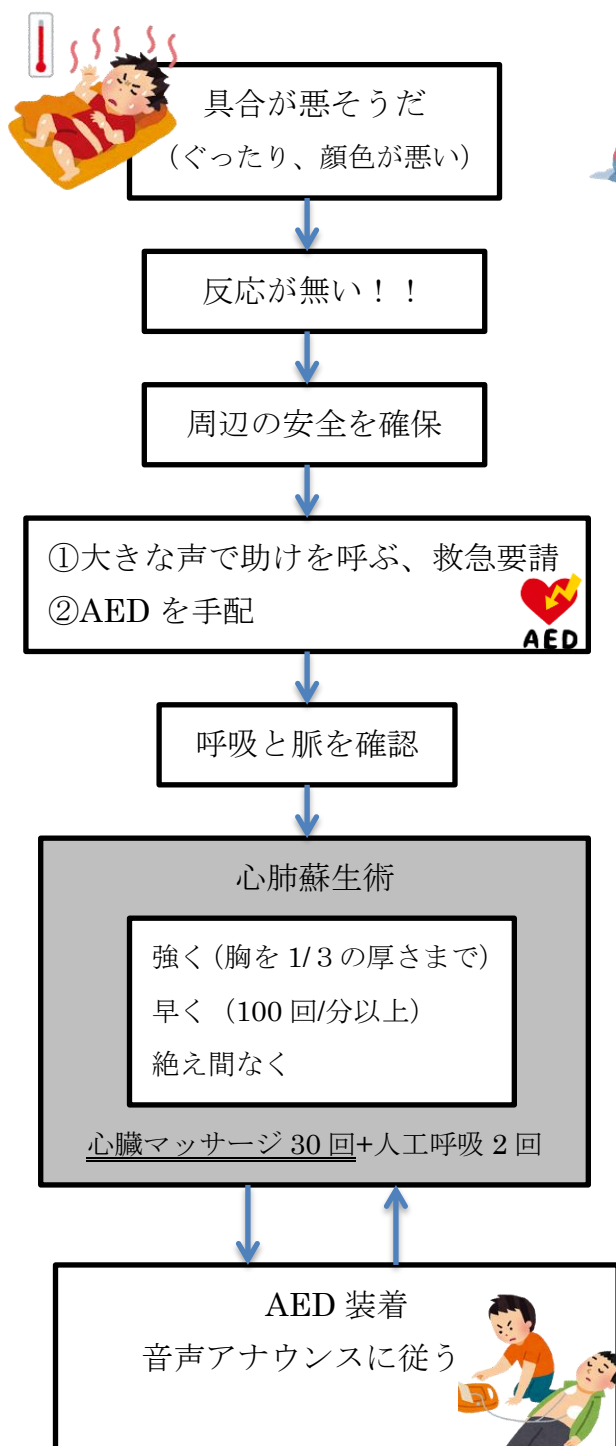
蘇生について

大切なご家族の急変で慌ててしまい、混乱する事が予測されます。とにかく冷静になる事が重要です。簡単ですが、対応を挙げてみます。AEDは官公庁、コンビニなどどこにもあります。近くにあるものを確認しましょう。

キーワード

- あわてない
- とにかく人を呼ぶ
- 患者から離れない
- 胸骨圧迫は「強く」「早く」「絶え間なく」

心肺蘇生の方法



「呼びかけ」や「刺激」をしてみましょう。

車移動中など、突然止まると思わぬ事故にあってしまう場合があります。まずは安全な場所を確保して下さい。



絶対に患者から離れないで下さい!!

(電話やAEDは周りの人にしてもらいましょう)

脈は肘の真中より少し内側(上腕動脈)か足の付け根(ソケイ部: 大腿動脈)で確認します。年長者ならば頸動脈でもOKです。



[状況に応じた対応]

①人工呼吸が出来ない → 胸骨圧迫のみでもOK

②既に呼吸器がついている場合

→ 胸骨圧迫のみ続けて下さい。

③2人で行う → 胸骨圧迫 15回 + 人工呼吸 2回

※心臓マッサージは正確には「胸骨圧迫」と言います



AEDを開けると勝手に電源が入り、音声ガイドが開始します。

小児用パッドがありますが成人用でも可能です。救急隊が到着するまで、音声ガイドに従いながら心臓マッサージを継続して下さい。